

平成19年度 第1回福岡市中央卸売市場開設運営協議会水産物部会議事録

- 1 開催日時 平成20年2月4日（月） 11：00～
- 2 開催場所 福岡市鮮魚市場会館 第1会議室（2階）
- 3 出席者 開設運営協議会水産物部会委員・専門委員15名（別紙委員名簿参照）  
欠席：開設運営協議会会長・波積委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議内容  
中央卸売市場長あいさつ，事務局から委員紹介を行った後，議事に入る。

議題1：部会長，副部会長の選任について

（議長）議題1について事務局説明願います。

（事務局）選任方法について説明，部会長は梅野委員、副部会長は妹尾委員に決定

（議長）事務局から一括して報告の旨説明。

報告事項1 「鮮魚市場震災復旧状況について」

報告事項2 「市場活性化事業について」

－ 資料に沿って事務局が説明 －

質疑応答

（委員）活性化事業について。1階の食堂に関しては夜中にマナーの悪いお客さんが多い。営業時間を夜11時・12時で閉めて、朝4時・5時から開けるようにしてほしい。

（事務局）市場協会と連携して管理を徹底していきたい。

（事務局）参考資料「平成19年市場取扱状況」について説明。

（事務局）卸売手数料の弾力化（東京都の事例等）について説明。

（委員）今、中国の餃子問題が話題になっているが、水産物は大丈夫か。

（事務局）聞き取り調査し、衛生検査所でも調査したところ、市場内には入って

いないことを確認している。中国船で入っているアンコウは今回の件で値が下がっている。

(委員) アンコウなど漁場は同じなのに、中国産というだけで値が 1/3 ~ 1/4 になり、あまり売れない。

(委員) 同じところで獲っても中国産になるのか。

(委員) そういうこと。産地表示が厳しく言われている。中国産でも魚は同じ、きちんとしている。

(委員) 生鮮はよくても、加工品は心配。

(委員) 加工食品は原産国を表示していない。

(委員) 学校給食に加工品よりも、ぜひ地元の魚等をつかってほしい。消費者側からの働きかけをお願いしたい。

(委員) 市場は開設者と共にとっても厳しく管理している。

(事務局) 衛生検査所と協力して、きちんと検査・管理していきたい。

・・・閉会・・・